INFORMATION MAGAZINE THE JOURNAL

ザ・ジャーナル!!

Vol.8
No.3

National Hospital Organization Okayama Medical Center

やさしさ便り～岡山医療センターの今

地域災害拠点病院
地域医療支援病院
地域がん診療連携拠点病院
総合周産期母子医療センター

岡山医療センターの理念

人にやさしい病院
–Human Friendly Hospital–

1 患者さまにやさしい病院を目指します
2 病院で働く人にやさしい病院を目指します
3 地域の人にやさしい病院を目指します

CONTENTS

2 特集 放射線科紹介
4 センター NEWS(病院フェスタ)
6 未収金対策／金川病院だより
7 教育研修部研修だより・初期研修医通信
8 医療安全レポート／臨床研究推進室便り
9 健康レシピ
10 リソースナース室通信／小児救急研修
11 看護助産学校通信
12 TOPICS!／編集後記

携帯サイトを
開設しました!

表紙写真：2013.10.21・22
第9回岡山小児救急医療研修会

特集

放射線科紹介

2011年以来、2回目の紹介となります。
放射線科は現在常勤医師4名、後期研修医2名、技師23名、
受付1名、非常勤看護師1名の体制で行っています。
2012年度の診療実績は、およそCT 21600件、MRI 7700件、Angio 2300件、RI 1400件、放射線治療 200件です。
放射線科には多くの医療機器がありCT 2台、MRI 2台、血管撮影装置3台、放射線治療装置1台、
核医学診断装置1台などがあります。2001年の新病院移転以来10年が過ぎ、更新の時期を迎えているものも多く、
本年度はCTが1台更新され、最新の320列CTが導入されました。
また、福島原発事故に伴う住民の被ばくによる健康影響について調査すべく
ホールボディカウンターも更新されました。
今回は、これらの機器について紹介させていただきます。

320列CT装置導入!

平成25年10月より320列CT装置（東芝社製）が導入されました。

今回導入された320列CT装置とは64列CT装置の約5倍の範囲を1回転で撮影することが可能となっています。また、1回転で最小0.5mmの厚みの画像を320枚作成することも可能です。

恩恵としましては、息止め時間の大幅な短縮が可能である、一つの臓器（16cm内に納まる臓器）であれば1回転で撮影することが可能であるためズレのない時間の経過に沿った画像を作成することが可能である、などが挙げられます。

装置の見た目にも新たな機能が追加されており、大きなドーナツの形をした機械の上の部分にi-Stationと呼ばれるモニターが付いています。このモニターには患者様のID番号、氏名、生年月日、アニメーションによる検査説明などを表示させることができ、患者様間違い防止やスムーズな検査進行の一躍を担っています。

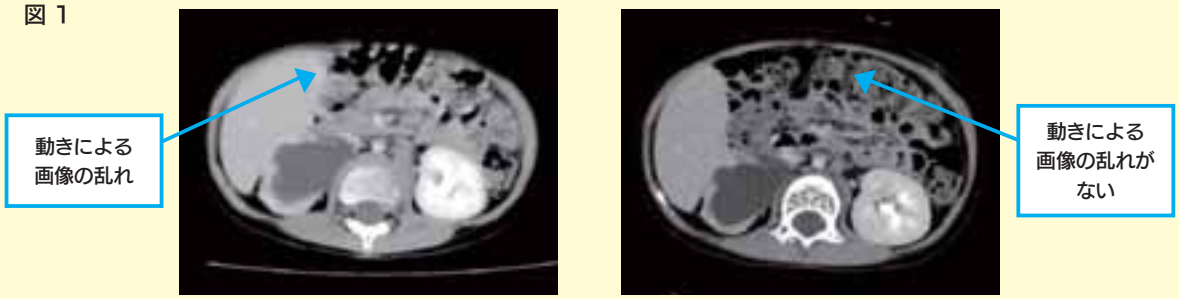
i-Station

大人用検査説明画面

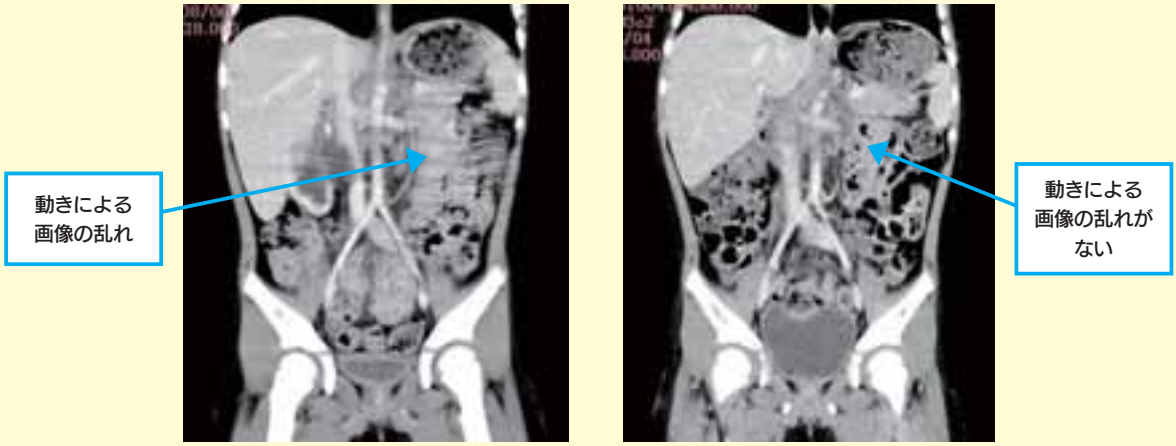
子供用検査説明画面

本院の理念として“人にやさしい病院”とありますが、その中に赤ちゃんや子供に優しい病院という意味も含まれています。320列CT装置は広い範囲を素早く撮影できるため、検査の難しかった赤ちゃんや小さいお子様まで、綺麗な画像を撮影することが可能となっています。図1は5歳児を64列CT装置で撮影した時の画像と、320列CT装置で撮影した時の画像を比べたものです。

図 1



64列CT装置画像　320列CT装置画像



64列CT装置画像　　320列CT装置画像

撮影した時期は多少異なりますが、320列CT装置で撮影した画像はお腹の動きによる画像の乱れが少なく、各臓器が鮮明に見えているのがお判り頂けると思います。

更には、小児検査のみでなく心臓検査においても320列CT装置の力は発揮されます。一つの臓器であれば1回転で撮影することが可能である事は既に述べましたが、今まで撮影が難しかった不整脈・高心拍の患者様においても、1回転で撮影することによって非常に綺麗な画像を作成することが可能となっています。

最後に、今回の320列CT装置導入に伴い検査室内も大幅に改装されました。自然を感じさせる緑を採り入れた天井に、清潔感のある白を基調とした壁と床になっています。

気持ちよく検査を受けられるようにスタッフも努力していますので、これからも宜しくお願いします。

320列CT装置室

ホールボディカウンターの更新について

これまで当院所有のホールボディカウンターは、設置から10年近くが経過しており経年劣化が著しく、その使用を中止しておりました。

しかし、このたび岡山県のご協力を得ることができ、ホールボディカウンターの更新を行うことができました。

ホールボディカウンターとは人の体内に取り込まれた放射線を出す物質を測定することができる装置です。いわゆる内部被ばく測定装置のことです。

装置の椅子に10分間座っているだけで、主に甲状腺にあるヨウ素131や体幹部に分布したセシウム137などの測定が行えます。

2013年12月現在、装置の入れ替えを行い使用のための調整を行っておりますので実際の稼働は2014年初旬を予定しております。

実際の稼働に関しまして当院のホームページにてお知らせいたします。

図2が今回導入された安西メディカル社製、簡易型ホールボディカウンターです。甲状腺内のヨウ素131と体内に分布するセシウム137の量を把握することが可能です。

図2　簡易型ホールボディカウンター　S.I.M

放射線科スタッフ

新屋　晴孝　医長　　清水　光春　医師　　向井　　敬　医師　　丸中　三菜子　医師

川端　隆寛　医師　　梶田　聡一郎　医師　　田淵　修一　診療放射線技師長

水田　敏道　副診療放射線技師長　　國谷　直希　副診療放射線技師長　　他

第6回 病院フェスタを開催しました

これ以上ない晴天に恵まれた平成25年11月2日、東院長の開催宣言に続いて横井小学校ブラスバンド部の皆さんの演奏で今年の病院フェスタが開幕しました。第6回目を迎えた今回は「見て、触って、体験できる」企画が盛りだくさん。毎回好評の外科手術体験や看護体験、調剤体験、臨床検査体験の他、新企画のスタンプラリー、また岡山北消防署津高出張所から起震車の展示、当院DMAT（災害派遣医療チーム）による災害テント設置などなど。訪れた約1500人のお客さま達もそして準備に奮闘したスタッフもみんな笑顔の1日になりました。

ももっち・うらっちもフェスタに登場

東院長の宣言でフェスタ開幕

好評の地域特産物販売

病院フェスタに参加して

オープニングセレモニーで演奏していただいた横井小学校ブラスバンド部の先生と児童代表の方よりひと言

■横井小学校ブラスバンド部 児童代表　石田　真弓

平成25年11月2日、横井小学校ブラスバンド部は病院フェスタに出演させていただきました。

ブラスバンド部として病院フェスタに出演させていただくことは初めてです。「どんな場所で演奏させてもらえるのだろう。」「お客さんは集まってくれるだろうか。」と心配でした。でも、お客さんはたくさん来てくれていたので安心しました。演奏中、前をバスが通るのにはびっくりしましたが、無事演奏ができ、お客さんからは大きな拍手をいただきました。

私は「この病院フェスタに出演させてもらって良かった。」「拍手がもらえてうれしかった。」と思いました。

また、出店の方では、カレーライス、おでん、やきいもなどなどが売ってあり、私もいただきました。とてもおいしかったです。

オープニングセレモニー　横井小ブラスバンド部による演奏

横井小ブラスバンド部は、各町内で行われる祭りや行事をはじめ、中学校区内で開催されるイベントなどに積極的に参加し、日頃の練習の成果を発表でき、地域の人の温かさにふれられることは、とてもありがたいことです。

私は6年生で、ブラスバンド部員として活動できるのはあと少しです。さびしい気持ちもありますが、これからは、後輩たちがやっていってくれると思います。

これからも、横井小学校ブラスバンド部をよろしくお願いします。

■横井小学校ブラスバンド部 顧問　平島　洋

先日は、病院フェスタでの演奏機会をいただき、どうもありがとうございました。気持ちの良い秋晴れのもと、正面玄関で演奏できたことをとてもうれしく思っております。

当日演奏した曲は、今年度になって練習してきた数曲で、子どもたちと一緒に選曲しました。夏のサマーフェスティバルで発表した「オーバー・ザ・シー」と「茶色のこびん」、その他にも、皆さんよくご存じの「ミッキーマウスマーチ」や、おなじみの「あまちゃんのテーマ」等々でした。

屋外通路が演奏場所であったため、雨よけのための天井が、ちょうどいい具合の残響空間となり、演奏していて、とても気持ちがよかったです。

司会進行の方のトークがとても楽しく、私たちの気分は盛り上がりました。

演奏が終わった後も、子どもたちはいろいろな催し物ブースを回り、楽しんでいたようです。

本校ブラスバンド部は、昭和54年に設立され、現在は学校教育活動（部活動）として、3年生から6年生までの児童で活動しています。週2日の放課後と土曜日の午前中に練習をしています。これまでに、岡山県吹奏楽コンクール金賞受賞や、全日本小学校バンドフェスティバル出場など輝かしい実績を残していますが、現在は校内での演奏機会拡充や地域行事への積極的参加を主眼においています。

今回の演奏を、部員・保護者一同大変喜んでいます。これからも、学校や地域から愛されるブラスバンド部として活動していきたいと思います。

お子様がイベントに参加された保護者の方よりひと言

小学校1年生の息子は臨床検査体験、3歳の娘は看護体験の申し込みをしました。

臨床検査体験では血液を見ました。血液には赤血球や白血球があること、その形などの説明を受けましたが、息子には少し難しくピンとこないようでした。でも、血小板の説明で「君のその膝のかさぶたになるんだよ」と言われてから「なんで？」「どうやってなるの？」と興味を持ち、いろいろな質問をして楽しめたようです。

娘の看護体験はまだ幼いため、なかなかできず残念でしたが、大きい子供さんが看護師さんの制服を着てお仕事をしているのを見て、もう少し大きくなってできるといいなと思いました。

その他にも当日、スタンプラリーをしながらレントゲンやCT、MRIの説明を受けたり、カテーテルを実際に触らせてもらったり、調剤の袋詰めをやらせてもらったりといろいろな体験を通して、子供たちが病院を身近に感じることのできる1日になりました。ありがとうございました。

陽の当たらない仕事

■企画課 業務班長　村上　孝次

病院（医師）には患者からの要請に応じて診療する義務、応召義務があります。

同時に、患者は診療契約に応じ診療費を支払う義務があります。

平成16年の独立行政法人化以降、国立病院は独立採算を求められてきましたが、診療費の未収は増加の一途を辿り、病院経営上の大問題となっています。

これは社会情勢の変化にともなう患者側のモラル低下もありますが、事務職員の徴収意識の欠如、督促という汚れ仕事からの逃避も大きな要因です。

陽の当たらない仕事に対する時初めて、人間の本質が現れます。

当院では未収金発生防止の体制づくりを急ぐと同時に、何度督促しても支払いがなく誠意が見られない患者に対して、岡山簡易裁判所に支払いを求め提訴を行っています。

支払いを求める方法として、支払督促、少額訴訟、通常訴訟などがありますが、当院は国立病院機構では前例の無い、すべて通常訴訟による裁判を行っています。

病院として決して望む手段ではありませんが、このままではきちんとお支払いしている患者様、一生懸命働いているスタッフに対して申し訳が立ちません。

平成25年11月現在、既に11件の裁判が終了していますが、すべて勝訴もしくは和解に至っています。平成25年度も残りわずかですが、20件以上の裁判を予定しています。

この督促・提訴については一過性で終わらせることなく、担当者の異動があっても継続的に実行する体制を整えます。

宇甘川の岸辺から～金川病院だより～
御津地域の方々と共に歩んで

■金川病院 庶務係長　後口　征司

岡山市立金川病院は、平成24年４月の開院以来、御津地域の方々に対して医療の提供のみならず、地域住民の憩いの場として機能する事を目標として、大森院長のもと職員一丸となって今日まで取り組んで参りました。

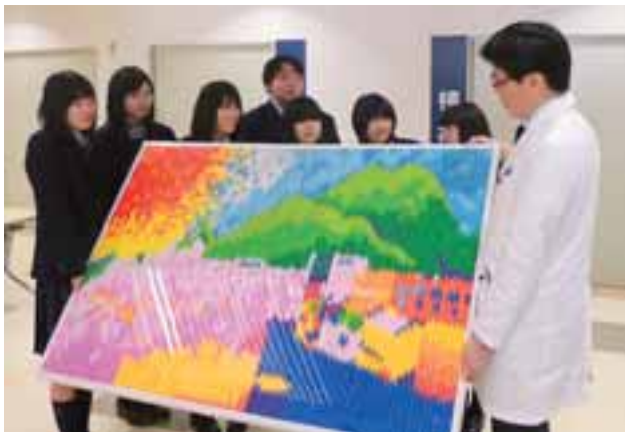
2013/9/26　彫刻家 岡山白珠氏と奥様（金川 大森院長と）

この度9月には、御津地域を中心に活動しておられる彫刻家岡山白珠氏が病院玄関を壮大な彫刻で飾って下さり、11月には金川保育園の園児達が可愛いカレンダーをプレゼントしてくれ、また御津高校の学生達も折り鶴で作った色鮮やかなモザイク画や写真パネルを院内に展示して下さったりと、白さのみが際立っていた病院内の壁にぱっと目を引く作品群の、手作りゆえの温かみが、訪れる人々の心を和ませ、医療と癒やしの相乗効果が病院全体にあふれるようになりました。

これはひとえに、地域との絆を大切にし、『笑顔とあいさつのあふれる病院』の実現を目指して一歩一歩歩んできた成果であるとともに、地域全体の幸福を常に考えながら医療活動を行う事が求められる“地域医療”のあるべき姿として、金川病院の存在が定着しつつある事の証ではないでしょうか。

壮大で可愛くて美しい作品の数々を眺めながら、今後とも御津地域の方々と手を取り合って支えあいながら、地域生活連携の核たる病院を自負し、高齢者にやさしい医療介護の街作りの担い手としてその先頭を走る決意を新たにしたのです。

2013/11/21　金川保育園園児達よりカレンダーのプレゼント



2013/11/28　御津高校生徒達よりモザイク画の進呈

教育研修部 研修だより　初期研修医通信　合併拡大版

第8回 初期研修医 症例発表会

■医師育成キャリア支援室 腎臓内科医長　太田　康介

去る11月16日に看護助産学校1階教室で行われた第8回初期研修医症例発表会は、おかげさまで興味深い症例検討が行われ活発な質疑応答がなされ無事終了いたしました。

医師の仕事の中で、適切なプレゼンテーションを行うことは大切な技能の一つです。また学会などの発表は、出席者に自分たちの情報を伝えたいという強い動機から行うもので、そのために題材を選ぶ、情報を整理して発表の組み立てをする、提示する文章や図表を作成する、それらを言葉で説明する一連の作業になります。発表の達人になれば3分間に1回は参加者を笑わせるそうですが中々その域には達せません。

今回の発表会は、初期研修医（2年目、1年目）がこの1年に経験した症例の中で1例選び、上級医から指導を受けながら完成したものです。初期研修医27名の演題を10のセッションに分け、該当する分野の部長・医長の先生にそれぞれの座長をお引き受けいただいています。

会の立案・運営は、総合的には松原広己臨床研究部長のご指導のもと、研修医2年目数名の先生が、プログラム作成、座長の依頼や会場運営、情報交換会など全て行いました。

さらには今後、今回の報告は症例報告の形で紙上発表を行ってゆく予定です。

（11月16日午後当院看護助産学校1階第1教室にて）

2年目、1年目の初期研修医を代表してひとこと

■初期研修医2年目　永井　康貴

初期研修医は主に病棟で診療技術を学んでいるのですが、それ以外にも様々な活動をしております。その一環として当院では例年症例発表会を行っており、11月16日に今年度の発表会を挙行致しました。簡単には自ら病棟で出会った疑問や事実を掘り下げて発表すると説明出来ますが、その過程で自ら論文を収集し、科学的妥当性について検証し、質疑応答の準備をしなければなりません。時間と労力が必要ですが、一般診療でも必要とされる能力なのでこの機会にしっかりと学習します。今年度も例年通り27人全員が発表し無事終了致しました。御指導頂いた先生方並びに会場を提供して下さった看護助産学校の職員の方々に、深く御礼申し上げます。

■初期研修医1年目　花田　知也

今年で8回目を迎える初期研修医 症例発表会が先日11月16日終了致しました。自分は腎臓のセッションで、糖尿病性腎症についての発表を行いました。太田康介先生、福岡晃輔先生、森本栄作先生の3人の先生方にご指導頂き、スライド内容、発表方法などを何度もチェックして頂きました。この場を借りて3人の先生方には深く感謝申し上げます。

この会を迎えるまでに各研修医は大まかに、症例の決定、抄録作成、スライド作成、予行演習、本番発表の順で進んで行くと思います。1年目については症例数自体がそこまで多くないため、その時点までに良い症例に出会えるかどうかも1つのポイントだと思いましたが、この会の肝はこれから数多く経験するであろう学会発表などの素地作りにあると思います。1つの症例について深く考察しその疾患について、あるいは近傍の知識をまとめ、いかに分かりやすく、印象深く伝えることが出来るか。そのことの難しさを実感した会になりました。

準備から本番に至るまで、今回得た経験はこれからの医師人生の貴重な土台作りになったと思います。ありがとうございました。

1年目　花田医師の発表

発表者に佐藤副院長からの質問が飛ぶ

医療安全レポート

ーセーフティーマネージャー会議よりー

11月19日（火）、病院職員の皆様のご協力のもと、機構病院における「病院間の医療安全相互チェック」を実施することができました。機構本部・中国四国ブロック事務所の立会いのもと、南岡山医療センターをオブザーバーに、福山医療センターの医療安全チームによる病棟2ヶ所、各部門のラウンドをして頂きました。マニュアル等を含め、患者だけでなく職員にとっても環境が整っている。また、規定等にそって各スタッフが実践し安全の提供に努力していると評価して頂きました。中にはいくつかの改善点も見つけて頂き、良い相互チェックとなりました。なにより、「職員の皆さんの対応がとても丁寧で良かったです。」とありがたい言葉を頂き、皆様に感謝です！

講評の様子

病棟ラウンド中

臨床研究推進室便り

最近、治験に協力して頂いている患者様から『テレビで治験に関する番組を見たよ』などの声をよく聞きます。以前よりも「治験」という言葉が身近になっているようで、私たち治験コーディネーターも嬉しく思っています。

街路樹の枝々も葉を落とし、本格的な冬を感じるようになりました。

臨床研究推進室では、冬の寒さにも負けず、患者様が満足する医療の発展に貢献するため、日々尽力しています。

11月には国立病院総合医学会で当室スタッフの明石看護師が「エポプロステノール後発品の製造販売後臨床試験におけるCRCの関与」と題し、加賀百万石 金沢の地にて、当院で実施した研究の発表を行いました。

後発医薬品は、現在、「ジェネリック医薬品」として広く使用されています。しかし、病気や薬の種類によっては、未だその使用に不安を抱いている患者様がいらっしゃいます。当院では、患者様、製薬企業と一体となり後発医薬品が安心して使用されるための一役を担っています。

寒さもこれから厳しくなります。風邪などひかないよう体調にお気をつけ、よい年が迎えられますよう心よりお祈りしています。

募集中の治験

- 糖尿病領域：糖尿病で神経障害のある方
- 循環器領域：症候性深部静脈血栓症および急性肺塞栓症の方
- 血液内科領域：多発性骨髄腫を発症した方
- 呼吸器科領域：医療用麻薬（痛み止め）内服中の方。これから服用をはじめる方

臨床研究推進室（治験管理室）
TEL：086-294-9519
（平日のみ）

その他、当院実施中の治験参加に関する問い合わせも受付しています

栄養管理室 PRESENTS!

栄養満点！ヘルシーメニュー

知っているようで意外と知らない…

おせち料理

「おせち料理」を自宅で作ることが少なくなっている近年…
デパートの「おせち料理」が定番にもなってきているのは、時代の流れでしょうか…
以前は、お正月の三が日はスーパーも全て休業するため年末に買い溜めていたものですが、
今では年中無休で24時間営業スーパーも増えている背景も
「おせち料理」を遠ざけている原因でしょう。
おせちに入れられる料理には、あらゆる意味や願いがこめられていることはご存知のことでしょう。
お重にしなくても、単品でも食してみられてはいかがでしょうか？

海老
腰が曲がるまで長生き、
丈夫で健康にとの願い

数の子
子宝、子孫繁栄

伊達巻き
知恵が増えるようにとの願い

田作り
稲の豊作、五穀豊穣の願い

黒豆
1年中「まめ（まじめ）」に働き
健康に暮らせるように

昆布巻き
「喜ぶ」にかけたもの

紅白蒲鉾
半円形は「日の出」に似ている、
新しい門出の意味

栗きんとん
財産、富を得る縁起物

余った黒豆で・・・

黒豆とさつまいもの白和え

余った黒豆の甘さや味を生かして、特に味は付けていません。
さつまいもを軟らかく茹でたりふかしたりしたものと、
黒豆、水切りをした豆腐を裏ごしして和えるだけの簡単アレンジです。
味がうすければ、白味噌等で味を調えて・・・

リソースナース室通信 Vol.17

乾燥する季節になり、肌荒れに悩んでいる方も多いのではないでしょうか？肌の保湿のポイントは、お風呂上がりは５分以内に保湿クリーム等を塗り皮膚内に入った水分を逃がさないようにすることです。顔は化粧水で水分を皮膚内に入れ、その上にクリーム等を塗ってフタをしましょう。手洗いを行う場合は熱めのお湯は使わないように。お肌のバリアがなくなってしまいます。そして保湿効果の高いセラミド入り等の保湿クリームを使用しましょう。

皆さん。
こんなことをやってほしい！
というリクエストを
お待ちしています！

第９回岡山小児救急医療研修会を終えて

■6階B（小児）病棟　副看護師長
藤澤　秀樹

平成25年10月21・22日の2日間で、第9回岡山小児救急医療研修会をテーマ「小児医療における医療の質を考える～最新の知識と日常ケア～」とし、当院主催で開催しました。この研修は、岡山県内や近隣県内の小児救急医療体制の均質化と向上への寄与を期待された研修であり、今回は平成25年度川崎医学・医療福祉学振興会助成事業に係る地域連携・交流助成の承認を受けました。小児救急に携わる医師・看護師・助産師・消防士・養護教諭、合計112名と多数の参加がありました。

研修会は、救急と成育の2コースに分かれ、私は病棟のスタッフ数名と一緒に、救急初期対応の実習を担当しました。私がこの研修を担当し3年目になりますが、今年度は初めて実習で医師と看護師のコラボレーションを行いました。研修内容は、心肺蘇生法（CPR）の一次救命処置（BLS）を最新のガイドラインに沿った講義と実習を行いました。参加者全員が実際にBLSを行えるように配慮し、少しでも楽しんで実習ができるようにしました。アンケートには、「実習があってよかった」「BLSをもう一度勉強できた」という言葉があり、研修を担当することで新しい知識を得て、他施設の方とも交流する事ができ、とても良い経験になりました。また、いかに研修生の方に満足してもらえるか、研修担当スタッフが一丸となって企画を検討しました。アンケートには「花が飾られており、会場の雰囲気がよかった」との言葉があり、今年のキーワードの「お・も・て・な・し」の精神で研修を企画したことがこのような言葉を頂けたのだと思います。

当院は総合周産期母子医療センターであり地域の成育・小児医療において、重要な役割を担っています。5B・6A・6B病棟のスタッフは、成育・小児看護に対してとても熱い思いを持っており、私の誇りです。これからもみんなと一緒に、子どもによりよい看護を提供できるようにしていきたいと思います。

看護助産学校通信 Vol.15

学生祭!!「私からあなたへつながる笑顔」

看護学科　教員　石川　涼太

看護助産学校では、9月28日（土）に学生祭が行われ多くの方にご来校頂きました。今年のテーマは、私からあなたへつながる笑顔 ～SMILE to smile～ でした。学生から溢れる笑顔やパワーを、学生祭を通して患者様や地域の方々、病院職員の方々に届けたいという思いを込めて、学生たちがこのテーマに決めました。

学習成果の展示、食品バザー、物品バザー、花販売など多くの内容を学生主体で企画し、学生一同“おもてなし”の精神で、来校者を笑顔でお迎えしました。午後からのステージ発表では、1年生の各クラスでの発表や男子学生による組み体操、女子学生によるダンスなど、普段みることのできない学生の才能に驚きました。

また、地域の方々のご協力にも大変感謝しております。今年度も、地域の方々が一生懸命育てられた果物や野菜などを提供していただき、販売させて頂きました。さらに、実習施設としてお世話になっている慈圭病院や河田病院の社会復帰施設で作られているパンや、ビーズ・アクセサリー類を施設の職員の方にご協力頂きながら、販売し大盛況でした。

さらに今年度は、看護師を目指す高校生の方にも学校のことを知ってもらうために、学生による学校紹介や副学校長・教育主事による進路相談なども行いました。将来の看護師の仲間が増えることを楽しみにしています。

学生祭を通して、自分の笑顔が相手の笑顔を作り、またその笑顔が次の笑顔を作っていくことを学生たちは実感できたのではないでしょうか。

最後になりましたが、この場をお借りして、学生祭の運営にご協力いただいた皆様方に深く感謝申し上げます。

新鮮な野菜の販売

男子学生による組み体操

美しいお花を販売

ステージ発表!ももクロ!?

広報第8巻　第3号　平成25年12月25日発行(年4回発行)　発行責任者／津島知靖　編集責任者／臼井由行　独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター 医療広報推進室
〒701-1192 岡山市北区田益1711-1　TEL 086-294-9911　FAX 086-294-9255　URL http://okayamamc.jp/　E-mail info@okayama3.hosp.go.jp　印刷:(株)中野コロタイプ

院内活動案内

TOPICS!

地域医療研修室　医療者のためのセミナー・講演会（1月）

会場：当院西棟8階大研修室
時間：19:30～20:30

日　程	種　別		演　者
平成26年 1月14日(火)	第44回 薬剤師研修会	糖代謝に期待するインスリン・インクレチン効果 －実臨床における膵α・β細胞障害の立場から－	糖尿病・代謝内科医長 肥田　和之
平成26年 1月21日(火)	第18回 地域医療研修セミナー	耳鼻科疾患について(仮)	耳鼻咽喉科医長 丸中　秀格

当校で一緒に看護師・助産師を目指しましょう!

＊入学試験のご案内

看護学科　<一般入試>

- ●募集人員　入学定員(120名)の6割程度
- ●出願期間　平成25年12月17日(火)～平成26年1月7日(火)(消印有効)
- ●試 験 日　A日程:平成26年1月16日(木)
  B日程:平成26年1月23日(木)
  A日程、B日程のいずれか一方を選択して下さい。
- ●試験科目　国語総合(古文・漢文を除く)・現代文、英語Ⅰ・Ⅱ、数学Ⅰ
  ※全科目マークシート方式
  面接

助産学科　<一般入試>

- ●募集人員　入学定員(20名)の5割程度
- ●出願期間　平成25年12月17日(火)～平成26年1月7日(火)(消印有効)
- ●試 験 日　学科試験:平成26年1月16日(木)
  面　　接:平成26年1月17日(金)
- ●試験科目　英語、看護学(基礎看護学、母性看護学、小児看護学)、面接

入試に関する郵送・請求・お問い合わせ先

平成26年度2014学生募集要項
学校案内の請求方法

返信用封筒(角型2号A4サイズ)に請求される方の郵便番号、住所、氏名を明記し、210円切手を返信用封筒に貼付し、本校下記住所まで郵送にて請求して下さい。

〒701-1195　岡山県岡山市北区田益1711-1
独立行政法人国立病院機構
岡山医療センター附属岡山看護助産学校
電話　086-294-9292
E-Mail　n-school@okayama3.hosp.go.jp
ホームページ　http://okayamamc.jp/gakko/

編集後記

2013年(平成25年)も流転目まぐるしい感じであった。良いこともあった。富士山が世界遺産に登録された。富士は日本一の山だ。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック招致が決まった。しかし、それに尽力した猪瀬東京都知事は一転辞任に追い込まれた。今、『利休にたずねよ』という映画が封切られている。利休とは、「利心、休せよ」(才能におぼれずに「老古錐(使い古して先の丸くなった錐)」の境地を目指せ)の意味だそうである。利とは、鋭いの意味で、鋭さもほどほどにしないと身を滅ぼすそうである。しかし、利休は茶を極めた。生涯、鋭くあったわけである。猪瀬知事とは次元が違う話ではあるが。来る年も良い年でありますように。
(臼井)